

夢追い人

柔軟な姿勢で どこにもない製品を造る

(株)エトウ
代表取締役
(大川商工会議所副会頭)

江藤 義行 さん

(株)エトウの「KOTOKA」が、ウッドデザイン賞2015のハートフルデザイン部門で受賞した。

「KOTOKA」とは、等級の高い、熊本産檜材だけを使用したデザイン性の高い国産2段ベッド。ビタミンカラーラーがアクセント。子供たちが想像力あふれる時間を過ごせるように、遊び心があるデザインになっている。2014年秋の発表以降、高評価を得てきた。「OOOKAWA The Future Furniture 2014 住空間デザインコンペ」では財務大臣賞を受賞。昨年2月にあった韓国の

展示会でも良い反応を得られた。「仕事には関係ないけど子どもに買いたい」「韓国で販売してほしい」という声が聞かれたという。そして今回のウッドデザイン賞受賞……。

大川商工会議所副会頭で、(株)エトウの社長の江藤義行さんに「KOTOKA」を中心にお聞きした。

「KOTOKA」開発のきっかけは何だったのだろうか。

「近年、台湾や韓国で、日本のヒノキが注目されます。アジアにはたくさんの木材はありますが、ヒノキのように効能があり、木肌が美しい木はあまり見られないのです。そんな中、輸出も視野

外観





九州のヒノキ材を使用したシリーズ「KOTOKA」の二段ベッド



手入れされたヒノキの森

ベッドにぴったり。
「KOTOKA」の高さは146cm。コンパクトサイズでマンションやアパートなどで圧迫感を感じることがない。

ベッドのあらゆる角には全て丸み加工が施されていて、「安心・安全に使えるベッド」になっている。また上段・下段どちらにも2口コンセント付きの宮棚があり、携帯電話やゲーム機などを寝ている間に充電したり、小さな間接照明を取り付けることができるの

「KOTOKA」は関連会社でネット販売を行う（株）スマート・アイのサイト（わくわくランド）から購入することができる。

（株）エトウでは今後「新製品開発」に一層力を入れていく。「どこにもない製品を

「海外を含めたさまざまな販路にチャレンジしていきたい。日本のマーケットは縮小していく傾向にあるからです。」
と江藤さんは意欲的だ。そして今、台湾から発注を受けている。需要に対し、生産が追いつかないほど人気があるそうだ。

夢は何だろうか。「これまで海外展開やネット販売など時代に応じた経営を心がけてきましたが、一層柔軟な姿勢で業態を向上させていきたいですね。創業100周年を迎える2020年に経営目標を是非達成し、全社員で東京オリンピックに行くのが夢です。」

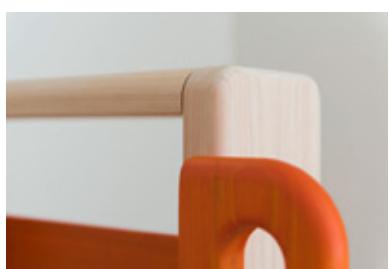


韓国での展示会の様子

入れた、九州産のヒノキを使つた家具づくりをスタートさせたのです。」
さらに別の要素も。「いま日本には檜の伐採時期を迎えている山がたくさんあるのにも関わらず、放置されている状況があります。」と江藤さんは語る。

ベッドに檜を使うのには訳がある。「ヒノキの特性を調べていくと、抗菌効果や消臭効果をもち、さらに気分を落ち着かせる香りの成分があることがわかりました。しつとりとした木肌もいい。特に

二段ベッドにヒノキの無垢材を使うことは、子どもたちによい睡眠環境が提供できます」。さらに防カビ、防ダニ、抗菌性があるそうだ。子供用



丸みを帯びたきれいな仕上がり



2口コンセントの宮棚付きで便利



ウッドデザイン賞2015
ハートフルデザイン部門で受賞

